

まえがき

農林水産政策研究所では、平成 22 年度よりプロジェクト研究「我が国農業分野における地球温暖化対策の評価手法の開発等に関する研究」（平成 22 年度～平成 24 年度、通称：温暖化プロジェクト）を実施し、農林水産分野における地球温暖化対策が農業や地域に与えるさまざまな影響を多角的に分析してきた。この 3 年間に取り組んできた課題は次頁の図にまとめられている。当初、3 つの課題を設定してスタートした本プロジェクトだったが、初年度がほぼ終わろうとする平成 23 年 3 月 11 日、未曾有の大災害である東日本大震災とそれに伴う福島第 1 原子力発電所の事故が発生した。本プロジェクトも東日本大震災後の社会的な情勢や研究ニーズの変化等を反映させ、平成 23 年度からはバイオエネルギーの研究を新たに加え、それまでの 3 つの課題を（１）農業分野における地球温暖化対策がもたらす影響評価と（２）バイオエネルギーの積極導入に向けた検討及び影響評価という 2 つに再編して研究を遂行することになった。

そして、温暖化プロジェクトで得られた研究成果は 3 冊のプロジェクト研究資料にとりまとめられており、本書はその第 1 号として、農業分野における地球温暖化緩和策がもたらす影響評価に関する成果を取りまとめたものである。本資料の執筆にあたっては、温暖化プロジェクトに客員研究員として加わっていただいた九州大学大学院農学研究院矢部光保教授と水産総合研究センター中央水産研究所高橋義文研究員（現：水産総合研究センター東北区水産研究所）にも一部ご担当いただき、さらに第 6 章については佐賀大学農学部の田中宗浩准教授にも執筆者として加わっていただいた。なお、諸般の事情により刊行が遅れてしまったものの、本資料は本プロジェクト終了直後の平成 25 年 6 月時点の情報をもとに取りまとめたものである。

本資料が農林業分野での地球温暖化緩和策の実施における基礎資料として幅広い分野で活用されることを願っている。温暖化プロジェクトでは本資料の他に 2 冊の研究資料の刊行を予定している。今後刊行される温暖化プロジェクト研究資料第 2 号および第 3 号についても、本資料と相互に関連する内容を含んでおり、併せてご覧いただければ幸いである。

平成 26 年 3 月

農林水産政策研究所

温暖化プロジェクトチーム